

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年2月20日(2023.2.20)

【国際公開番号】WO2020/185961
 【公表番号】特表2022-524622(P2022-524622A)
 【公表日】令和4年5月9日(2022.5.9)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-080
 【出願番号】特願2021-554996(P2021-554996)
 【国際特許分類】

10

A 6 1 B 10/02(2006.01)
 A 6 1 B 17/56(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/02 1 1 0 B
 A 6 1 B 17/56
 A 6 1 B 10/02 1 1 0 K

【手続補正書】
 【提出日】令和5年2月10日(2023.2.10)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

20

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織コアリングデバイスであって、
 ハンドルと、
 デバイス本体内の中空シャフトと、
 付勢要素であって、ハンドル内に収容され、線形前進機構に結合されている付勢要素と

30

、
 第1のアクチュエータと、
 中空の貫通針であって、第1のアクチュエータが動作可能に接続されている中空の貫通針と、を備えている組織コアリングデバイス。

【請求項2】

前記貫通針が角度の付いた先端を有している、請求項1に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項3】

前記中空シャフトの遠位部分がコアリング位置にアクセスするために湾曲している、請求項1に記載の組織コアリングデバイス。

40

【請求項4】

前記付勢要素が、インデックスおよびインパクト機構に動作可能に接続されている、請求項1に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項5】

前記付勢要素の線形前進機構が、線形インデックスジュネーブ機構、ラックアンドピニオン、スライダクランク、パレルカムおよびフォロア、スロット付きパークイックリターン機構、ウィットワース機構、振動ペネトレータ、または振動斜板機構から選択される、請求項4に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項6】

後退のために前記貫通針に動作可能に接続されている第2のアクチュエータをさらに備

50

えている、請求項 1 に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項 7】

トグルおよび前記第 1 のアクチュエータの二次モードをさらに備えている、請求項 1 に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項 8】

前記中空シャフトが前記ハンドルから取り外して、他の付属部品と交換することができる、請求項 1 に記載の組織コアリングデバイス。

【請求項 9】

前記中空シャフトが、吸引用のポートを有する中空チューブと、第 1 のスライダとを備えており、第 1 のスライダが切断用先端を有している、請求項 1 に記載の組織コアリングデバイス。

10

【請求項 10】

前記貫通針内に配置された長尺状のスライダをさらに備えている、請求項 1 に記載の組織コアリングデバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

20

本発明は、ハンドル、中空シャフト、付勢要素、第 1 のアクチュエータ、および長尺状の部分と鋭利な先端とを備えた中空の貫通針を含む自動組織コアリングデバイスである。中空シャフトの遠位部分は、低侵襲処置の際のアクセスを向上させるために、任意選択的に湾曲している。ハンドルは、任意選択的にインパクトおよびインデックス機構に構成された付勢要素を収容し、これにより、使用者が第 1 のアクチュエータを作動させる (trigger) することで、既知の力を加えおよび/または既知の距離を前進させることができる。付勢要素は、例えば、以下のリストなどにある 1 つまたは複数の線形前進機構と結合することができるが、これに限定されるものではない。線形インデックスジュネーブ機構、ラックアンドピニオン、スライダクランク、パレルカムおよびフォロア、スロット付きパークイックリターン機構、ホイットワース機構、振動ペネトレータ、振動斜板機構

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

図 1 に示すように、自動組織コアリングデバイス 1 は、ハンドル 11、中空シャフト 12、付勢要素 13、第 1 のアクチュエータ 14、および長尺状部分と鋭利な先端 152 とを有する中空貫通針を備える。中空シャフトの遠位部分 122 は、低侵襲処置の際のアクセスを向上させるために、任意選択的に湾曲している。ハンドルは、任意選択でインパクトおよびインデックス機構 131 に合わせて形成された付勢要素 13 を収容し、これにより、使用者は、第 1 のアクチュエータ 14 を作動させて (trigger)、中空貫通針の先端に対して既知の力を加えおよび/または既知の距離を前進させることができる。付勢要素は、例えば、以下のリストなどにある 1 つまたは複数の線形前進機構と結合することができるが、これに限定されるものではない。線形インデックスジュネーブ機構、ラックアンドピニオン、スライダクランク、パレルカムおよびフォロア、スロット付きパークイックリターン機構、ホイットワース機構、振動ペネトレータ、振動斜板機構。貫通針の先端は、任意選択の第 2 のアクチュエータ 16、任意選択のトグル 132、第 1 のアクチュエータの二次モード、またはそれらのいくつかの組み合わせを使用することによって後

40

50

退させることができる。

10

20

30

40

50